

袋井市は幼小中一貫教育を推進しています。

幼小中つながる通信 vol.72

発行：令和2年6月12日 袋井市教育委員会

幼小接続カリキュラムを大切にしています



←教科書を音読する様子。教科書の持ち方、姿勢、視線も音読には大切なポイントです。

ひらがなの勉強も始まっています。とめ、はね、はらい、鉛筆の持ち方、姿勢に注意して書きます。

↓



入学式を迎え、小学校生活がスタート…と思っていた矢先の休校。小学校1年生の子どもたちにとっては、学校生活が待ち遠しかったことと思います。5月18日に学校が再開し、学校の主役である子どもの姿が学校に戻ってきました。教室も先生も、そして子どもたちもとてもうれしそうです。

幼小のつながりを大切にする

幼小中の接続

ある小学校の1年生の先生からこんな話を聞きました。「休校期間中、幼稚園の先生から引き継いだ話を学年の職員でもう一度確認し、子どもたちが学校に来た時にどんな声をかけたらいいか、どのように接したらいいか考えていました。この子には…そしてこの子には…。幼稚園の先生のお話が、学校再開後の子どもへの接し方のヒントになりました。」

袋井市では、子どもたちの幸せのために、幼小中の接続を大切にしたい一貫教育を推進しています。こんな状況だからこそ、幼小のきめ細やかな接続が子どもたちの安定した学校生活を支えています。

子どもの声に耳を傾ける

学校が再開され、子どもの安心、安全のために新しい生活様式での学校生活が始まっています。新しい生活様式の中で、子どもたちがストレスを抱えることがないように、時には丁寧に説明したり、時には子どもの気持ちに共感したり、学校生活に早く慣れるように、いつも子どもの声に耳を傾けています。



1年生の給食の様子

